

全国大会に向けて…心新たに!



全国大会に向けて選手達の誓い

富士電機のものづくりを支えるエフテックの技能!

富士電機のものづくりを革新することが我々エフテック（以下FFT）の使命です。エフテックの基盤は、技術・技能の維持・向上があってこそ成り立っています。今回、若手3名の方が7月の暑い中、埼玉県大会で見事合格され、現在12月の全国大会に向け、日々励んでいます。高い技能は健全な精神と強固な体があってこそ生まれるもので、彼らは毎日早朝より体力づくりからはじめ、日々指導員の方々の厳しい指導（時にはやさしく）と、本人たちの熱い思いにより、確実に高いレベルになってきております。今回の経験が、必ずやFFTを支えてくれるものと確信しております。FFT全員で彼らを応援すると共に、彼らに負けないよう全員が研鑽し、技術・技能でものづくりを支えて行きましょう。



代表取締役社長 南部 勤

太田和希選手

全国大会に初出場だが目標は高く機械加工では、致命的なミス無くし、敢闘賞以上を目指したい。(190点/200点満点)

佐藤正人選手

短い期間であったが、本大会では、緊張せず一つ一つの基本要素をクリアし全国大会に臨みたい。(先輩に追い付きたい)

佐藤大昂選手

初めての大会なので、安全に気を付け機械・仕上げ加工を時間内に完成させ、訓練の成果を発揮し、そして支えて下さった全ての方々に感謝し大会に臨みます。

第41回国際大会(イギリス:ロンドン)開催されました

技能五輪国際大会は、正式には、国際技能競技大会 (World Skills Competition)と呼ばれています。大会の目的は、参加各国における職業訓練の振興と青年技能者の国際交流、親善を図ることにあります。大会の起源は、1950年にスペインの職業青年団が提唱して隣国ポルトガルとの間で各12人の選手が技能を競ったことから始まりました。日本は1962年から参加、欧州と共に世界をリードして来ましたが、近年は韓国、台湾、タイなどのアジアの国々も頑張っています。(下記グラフ:日本からの国際大会参加者数◆/メダル獲得数■内金メダル◆)

現在、国際大会は2年に1度(奇数年)開催。国際大会前年の技能五輪全国大会優勝者(成績優秀者)が日本代表として選出されます。今年は第41回国際大会としてイギリス(ロンドン)にて10月4日~9日まで開催され、48ヶ国・地域の925名が46職種にて技を競いました。

【日本選手結果】参加39職種 (金、銀、銅、敢闘賞)

日本; 11個、4、4、9

◆金11(情報ネットワーク施工、製造チームチャレンジ、メカトロニクス、CNC旋盤、CNCフライス盤、印刷、自動車板金、洋菓子製造、自動車工、ITネットワークシステム管理、クリエイティブモデリング)

◆国別メダル(金、銀、銅、敢闘)

韓国(13、5、7、12)

スイス(6、5、6、10)

ブラジル(6、2、2、9)

※敢闘賞:台湾14、オーストラリア14、インドネシア10、タイ8、ベトナム7、中国5 等も健闘と思います。

日本からの国際大会参加/入賞状況

